

互和讚会（37年卒）2017年例会

朝夕は肌寒く日中は少し暖かい秋の好天に恵まれた11月6日（月）、例年になく少ない参加者ではあった（体のどこかに不具合が生じる者が増えて来ている年代である）が、元気な11人がJR米原駅から迎えのバスでプライベートリゾートホテルXIV琵琶湖に集合した。ここは我々の会では二度目の利用である。

三つの部屋に分かれまずは大浴場でゆっくり湯に浸かる。部屋でテレビを見ながら雑談し夕食の時間を待った。各種料理のレストランがあるダイニングフロアの会場で、和食会席での宴会が6時前からスタートした。

最初にこれまでに亡くなった11人（我々のクラスは留学生を除いて32人であるが）の天国での活躍を祈り黙祷した。テーブルに置いてある献立を見ると、その品数の多さに驚かされた。和食らしくどれも非常に凝って見た目美しく造られている。何れも量的に多くないのがこの年令の我々にとっては救いである。

例によって各自の現況報告を聞きながら、それを肴に酒を楽しんだ。

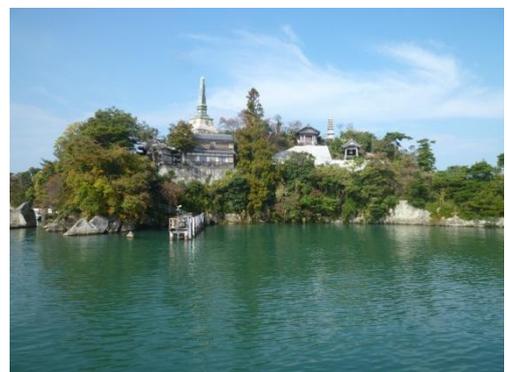


柴田君は用事の為9時前に帰ったので、残り10人が一部屋に集まり今回の世話役川崎君に準備して貰った飲み物でいつもの二次会。今回欠席をした友人たちの体調を心配しながら、又次回の案など話し合った。今回は宴会で非常に多く飲んでいたので、早めの就寝となった。

翌朝バイキングスタイルでの朝食を摂り、ホテル前で集合写真を撮る。

ホテルのバスで彦根港に向かった。オーミマリンの観光船で約45分の多景島回遊クルーズを楽しむ。琵琶湖には竹生島、日本で唯一だそうだが人が住む湖の中の島、現在300人程が生活している沖島そして多景島の3つの島と、大小4つの岩からなる沖の白石が湖中に存在する。

彦根藩井伊家の縁のこの多景島は、周囲約600mの大きさで島全体が日蓮宗見塔寺の境内になっている。



その後タクシーで彦根城に向かった。城には登らず、彦根城博物館を見学した。

1604年から工事が始まり1607年には城の天守閣が完成、大坂冬の陣、夏の陣を経て1922年までに彦根藩の政庁として表御殿が完成して彦根城全体の築城となったが、その表御殿を復元し建築されたのがこの博物館である。江戸時代の代々の藩主として彦根藩を



治めた井伊家の文武に渡る資料が展示されている。今年のNHK大河ドラマ「おんな城主直虎」が丁度その井伊家の一時代として機を得て館の中心に展開されており、人気も非常に高いそうである。

最後に城の堀の外側にある玄宮園を訪れた。中国湖南省の洞庭湖にある玄宗皇帝（唐の時代）の離宮庭園を参考に、「瀟湘八景」を「近江八景」に置き換えて作庭されたといわれているこの玄宮園、旧彦根藩の大名庭園であり非常に美しく池泉回遊式庭園と呼ぶそうである。庭園の中の茶室でちょっと優雅な気分になり正座して抹茶をいただいた。



彦根駅前のレストランで昼食を摂って駅で散会した。



X I V前での集合写真

前列左より 福西興至 川崎登也 阪口文雄 山中寛城 奥山正夫 宮崎 博
後列左より 山崎治忠 池田晴充 岩坪正光 宮脇雄也 のメンバーで柴田二三男君
は前日のみの参加であったのでここでは不在

記 山崎治忠